特別調査 1

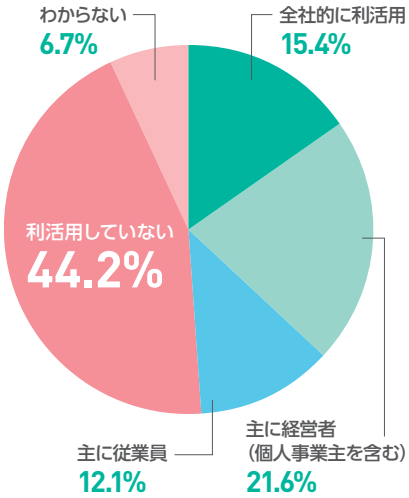
中小企業における生成AIの利活用について

近年、文章作成や情報収集、企画立案などを支援する生成AIは、少人数で業務の生産性を高めるための実践的なツールとして注目されています。導入自体のハードルが下がり、手軽に利用できる環境が整いつつある一方、現場からは「具体的な活用シーンが見出せない」「使いこなすノウハウや推進者が不足している」「情報管理の面で不安がある」といった声も聞かれます。今回のアンケートでは、中小企業における生成AIの活用状況や業務での活用実態、推進にあたっての課題、今後の活用方針等についてお伺いいたしました。

調査時期／2026年8月13日～9月3日　調査対象企業数／1190社　有効回答数／421社　有効回答率／35.4%　※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

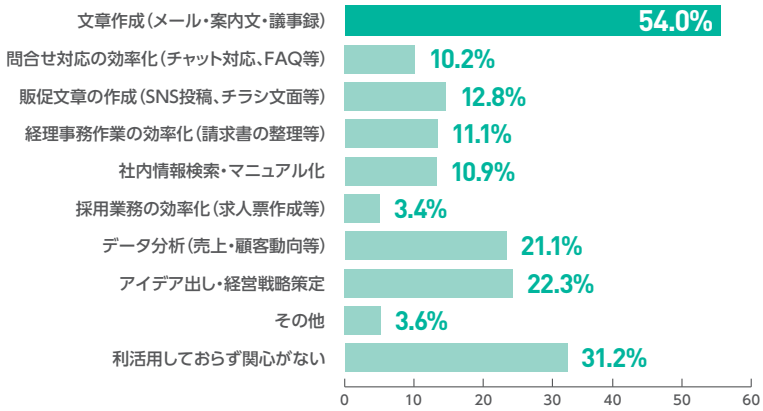
Q1

貴社では、業務上で生成AIを利活用していますか。利活用している場合は主にどのような方が使っていますか。 ※1つ選択



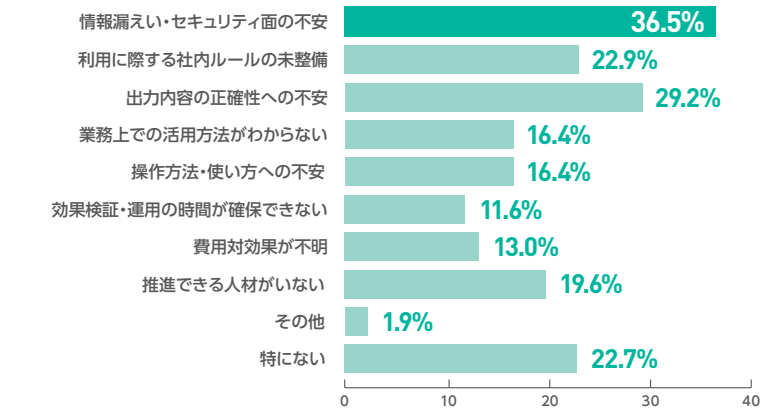
Q2

貴社では、業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか。また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか。 ※最大3つ選択



Q3

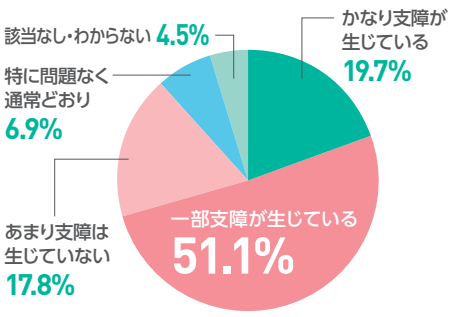
貴社が生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか。もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか。 ※最大3つ選択



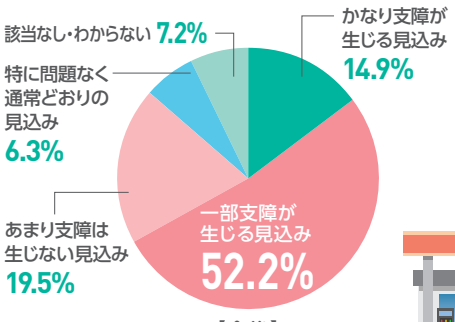
特別設問 中東情勢による影響

Q4

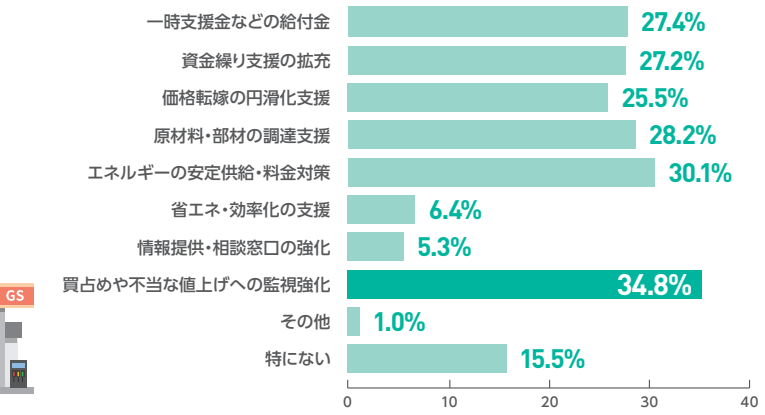
2026年以降の中東情勢の混迷などにより、貴社では原材料や商品などの調達に際して、価格面以外での支障が生じていますか。 ※1つ選択



【直近】



【今後】

Q5

中東情勢の混迷などにより、原油価格の高騰や、原材料・商品等の調達が困難な状況が生じています。これを受けて、今後、行政に求める支援策は何ですか。 ※最大3つ選択